

質問	中国の虚堂智愚は大燈国師の法祖父(＝大燈国師が虚堂智愚の孫弟子)というが、その間にはいる人物は誰か。
回答	虚堂と大燈の関係をつなぐのは、南浦紹明(なんぼじょうみん)。虚堂の弟子で、大燈の師にあたる。
回答のプロセス	<p>『古寺巡礼 京都 17 大徳寺』P.87  「虚堂智愚の法を嗣いで帰朝した南浦紹明(大応国師)の二大禅将があり」「大徳寺開祖の大燈国師(宗峰妙超)は(中略)南浦に参問して(中略)南浦依嘱の二十年長養の行に入られた。」</p> <p>『外国人物レファレンス事典』(古代—19世紀Ⅱ3漢字名)P.293によると、  虚堂智愚の項  「南浦紹明は虚堂の法脈を受けた臨済禅を日本に伝えられたことで著名」  『日本古代中世人名辞典』吉川弘文館(R281ニホ)P.721  南浦紹明(なんぼじょうみん)1235—1308  「杭州浄慈寺に赴いて虚堂智愚の門を…」  「虚堂の会下を辞して帰国した。」  「弟子に(中略)宗峰妙超(中略)などがある。」  宗峰妙超(しゅうじょうみょうちょう)1282—1337  「時に南浦紹明が南宋より帰国し、(中略)師事し(中略)その法を嗣いだ。」</p>
資料	『古寺巡礼 京都 17 大徳寺』 『外国人物レファレンス事典』(古代—19世紀Ⅱ3漢字名) 『日本古代中世人名辞典』吉川弘文館(R281ニホ)
備考	